

## 令和5年度 第2回 松江市生活環境保全審議会

1 日時 令和5年4月26日(水) 午後3時～午後5時

2 場所 松江市市民活動センター 201・202 研修室

### 3 出席者

#### (1)委員 8名

赤川楊桜子委員、安部吉輝委員、河原和美委員、桑原正樹委員、佐藤尚士委員、  
藤原人美委員、松浦俊彦委員、松本一郎委員

#### 欠席者 2名

岡崎泰幸委員、加原征子委員

#### (2)事務局 5名

余村環境エネルギー一部次長、石倉環境政策係長、松浦副主任、石原副主任、福間行政専門員

### 4 次第

#### (1)開会

#### (2)環境エネルギー一部次長あいさつ・委嘱状交付

#### (3)議事

① 地球温暖化対策実行計画の事務事業編について

② 地球温暖化対策実行計画の区域施策編について

#### (4)閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー一部環境エネルギー課

## (1) 開会

### ○石倉環境政策係長

ただいまより、令和5年度第2回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の石倉でございます。よろしくお願いいたします。

この委員会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、会議録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。

なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお発言くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、概ね午後5時を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたり、余村環境エネルギー部次長よりご挨拶を申し上げます。

## (2) 環境エネルギー部次長あいさつ・委嘱状交付

### ○余村環境エネルギー部次長

環境エネルギー部の余村です。本日はご出席いただきましてありがとうございます。本来ですと、環境エネルギー部長の花形からご挨拶するところですが、本日は出張で不在のため代理でご挨拶させていただきます。

前回、第1回は4月12日に開催し、6名の委員の皆さまにご出席いただきました。その際、市長より諮問をさせていただき、区域施策編については夏頃の策定を目指していくということで、この会が始まったところです。

近年は、脱炭素やSDGsなどに多くの方が興味を持たれているところだと思います。これらを踏まえることとあわせて、皆さまには活発なご議論をしていただき、委員の皆さまのご意見も取り入れながら、良い計画を作っていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### ○石倉環境政策係長

続きまして、前回会議を欠席された2名の委員に委嘱状を交付させていただきます。

当審議会の委員委嘱につきましては、本年2月1日の改選より2年間の任期となっております。委員の皆さまにおかれましては、松江市の環境施策の推進にあたり、それぞれのご専門・ご見識から、多方面よりご意見、ご審議くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、交付につきましては、本来ならばお一人ずつ手交させていただくところではございますが、会議時間短縮の観点から、それぞれの席上への配布に代えさせていただきましたので、ご了承くださいます。

また、お手元にお配りしております「委員名簿」により、皆様のご紹介に代えさせていただきます。大変略式により恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、「松江市の生活環境の保全に関する条例」第 27 条により委員の半数以上の出席が求められています。本日は、委員 10 名中 8 名がご出席ですので、会議の開催について成立いたしますことをご報告申し上げます。

ここから先の議事の進行につきましては、松本会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### (3) 議事

#### ○松本会長

皆さんこんにちは。前回の第 1 回の会議では市長にも参加していただき、熱い思いを感じました。本日の資料の中でもご説明があると思いますが、「松江市総合計画(MATSU DREAMS 2030)」という上位計画・市としての目標があり、これを実現するための一つとして、地球温暖化対策については、私達で議論しながら決めていこうということだと思います。ここから議事に入りますが、円滑な議事進行にご協力いただきながら、活発なご議論をお願いいたします。

先ほど、前回欠席の 2 名の方に委嘱状の交付をしていただきました。簡単で構いませんので、自己紹介をいただきたいなと思っています。藤原委員、松浦委員の順にお願いできますでしょうか。

#### ○藤原委員

NPO 法人もりふれ倶楽部から出席しております藤原と申します。主な仕事としては、学校などに伺って、森林教室や環境に関するイベントを企画しています。事務局が宍道のふるさと森林公園にあります。よろしくお願い致します。

#### ○松浦委員

松江の商工会議所で専務理事をしております、松浦と申します。今回の審議会の委員については、前回から引き続きお受けさせていただきました。我々、商工会議所でも脱炭素には大きな関心があり、研修や啓発事業などもやっていますがまだまだ取り組みが不十分なところもありますので、これからも取り組みを進めていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

#### ○松本会長

ありがとうございます。続きまして、事務局より本日の会議資料の確認をお願いします。

#### ○石倉環境政策係長

本日の資料について確認させていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料 1 (案)松江市地球温暖化対策実行計画改定に向けて(市役所編・事務事業編)

- ・資料 2 松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定
- ・資料 3 松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編:市域編)取り組み案
- ・参考資料 1 自治体排出量カルテ 松江市(環境省)
- ・参考資料 2 ゼロカーボンアクション 30(環境省)
- ・参考資料 3 EVドライブマップ(中海・宍道湖大山圏域市長会)
- ・参考資料 4 カーボンニュートラル LNG 受け入れ開始のお知らせ(松江市ガス局)
- ・参考資料 5 MATSUE DREAMS 2030 基本施策
- ・参考資料 6 既存住宅の断熱リフォーム支援補助金について

### ○松本会長

それでは、議題 1「松江市地球温暖化対策実行計画の事務事業編」について事務局より説明をお願いします。

### ○余村環境エネルギー部次長

環境エネルギー部の余村です。私の方から、議題 1 について説明させていただきます。

<議題 1 について、資料 1 を用いて以下の項目を説明>

- ・前回の会議の振り返り
- ・現在作成中の事務事業編の全体の構成
- ・策定スケジュールについて

### ○松本会長

今、事務事業編についての内容をご説明いただきました。本来、私たちが力を入れて議論すべきなのは、区域施策編になりますが、あわせて事務事業編の方もチェックしていくこととなります。

ご説明いただきましたとおり、新庁舎についての数値把握がまだできていないようなので、具体的な話は次回になるのかなと思います。また、市域全体では 46%の削減を目指す、市役所にかかる部分では 50%の削減を目指すと言うことでお話しいただきましたがこの点など、議題 1 に関する部分でご意見等ございませんでしょうか。

### ○佐藤副会長

資料のグラフの中に石炭コークスとありますが、これはゴミ処理場での使用によるものだと思います。コストの問題もあると思いますが、石炭コークスを別のものに置き換えることや発生するCO<sub>2</sub>を抑え込むような案があれば今の段階であれば教えていただければと思います。

### ○余村環境エネルギー部次長

佐藤委員からお話があった石炭コークスについてですが、エコクリーン松江ではシャフト炉を導

入しています。コークスが無いと、ゴミを燃焼することができない状況でして、コークス自体も値上がりしています。今、日本製鉄グループの炉に、バイオコークスというものがあり、石炭コークスの代替として、木などを使えないか考えており、松江市としても研究を進めています。また、厄介者と言われている水草を乾かし、炭化させて使用することができないかも考えている所です。現状としては、脱炭素先行地域に向けてこういった取り組みを事業者の方と共同で研究している状況です。

また、別の視点から言うと、ゴミの減量、ゴミの水分量を減らすことでコークスの使用量を減らすことができます。これらは、市民の皆さまの普段の生活に関することであり、区域施策編の中に含めて提案していきたいと考えています。

#### ○松本会長

ありがとうございます。佐藤委員、いかがでしょうか。

#### ○佐藤副会長

ご説明のとおり、私たちができることとしては、ごみの分別や含水量の減量が一番なのかなと思っています。まつえ環境市民会議の立場から発言させていただくと、取り組みの中に入れることができるのではないかと思います。引き続きご検討をよろしくお願いします。

#### ○松本会長

私からもよろしいでしょうか。

佐藤委員からも発言がありましたが、取り組みについては、私たちがプッシュして市民が進めるべきことと、行政が進めるべきことと2つあると思います。1つは、まつえ環境市民会議などと共に意識啓発などを行い、ゴミの減量化や水分量を減らすといったことは私たちにもできるのかなと思います。2つ目、バイオコークスや水草などの技術的な話については、行政と研究機関や事業者などと共同で進めていただきたいなと思いました。よろしくお願いします。

他、ご意見等無いようでしたら、議題 2「松江市地球温暖化対策実行計画の区域施策編」について事務局より説明をお願いします。資料 2 と資料 3 を用いてご説明いただきますが、資料 3 についてはボリュームが多くなっています。大きく 5 つの内容に分かれるようですので、1 つの内容が終わるごとにご意見を伺っていきたいと思います。

#### ○余村環境エネルギー部次長

環境エネルギー部の余村です。私の方から、議題 2 について説明させていただきます。

<議題 2 について、資料 2 を用いて以下の項目を説明>

- ・計画の構成イメージ
- ・上位、関連計画
- ・計画改定のポイント
- ・削減目標・取り組み内容(案)

<議題 2 について、資料 3 を用いて以下の項目を説明>

- ・脱炭素に向けたライフスタイル、ビジネススタイルの普及

#### ○松本会長

ありがとうございました。資料 2 と資料 3 に記載のある、取り組み案として、脱炭素に向けたライフスタイル、ビジネススタイルの普及に関する事項の説明をしていただきました。

委員の皆さまにはご意見等いただければと思いますが、特に副会長にはまつえ環境市民会議での取り組み内容についてもご発言いただければと思います。

#### ○佐藤副会長

先般、まつえ環境市民会議の役員会を行ったところですが、そこでは、色々な団体の方がいらっしやいますので多方面からご意見をいただいています。資料を見ても分かると思いますが、取り組みの内容は非常に多岐にわたります。これら一つ一つを積み重ねていくことが大切であり、まつえ環境市民会議に参加されている方には普段から真剣に取り組んでいただいています。意識改革についても学校で行って頂いたりしていますし、資料に書かれているような内容は概ね必要なことなのかなと思います。また、藤原委員がおられる NPO 法人もりふれ倶楽部さんでも教育について取り組みを行って頂いているのを見ると、やはり子ども達に楽しんでもらうことが大切なのかなと思っている所です。今後、数字を削減するための直接効果が求められるものと楽しみながら意識啓発していくことの両方が必要なのかなと思っています。今後、市民会議では自分達の行動を分かりやすく示すことができればなと思っており、普及や啓発に力を入れる必要があると思っています。

#### ○松本委員長

ありがとうございました。このあたり、とても重要な内容だと思います。計画に盛り込んでほしいのは、市役所と市民の間にまつえ環境市民会議があることが松江市の大きな特徴だと思います。市役所、まつえ環境市民会議、市民が共に手を取り合ってやるんだという書き方が必要かなと思います。

他、いかがでしょうか。

#### ○藤原委員

資料 3 は調布市さんの例だと思いますが、ゴーヤに関する取り組み例が記載されています。松江市さんでも同様の取り組みはされているのでしょうか。

#### ○余村環境エネルギー部次長

松江市でもまつえ環境市民会議と一緒にさせていただいています。

### ○藤原委員

そうなんです。先日、島根県緑化推進委員会から事業者向けにゴーヤを活用した取り組みをしてはどうかとお話をいただきましたが、やり方が大切なのかなと思っています。とても良い取り組みだと思っており、出雲市で同様の取り組みをされた際にゴーヤの種をいただきました。ただ、その後の報告などが大変で、こういったことを簡単にできればもっと市民が取り組みやすくなると思っていたところで、発言させていただきました。

### ○松本委員長

ありがとうございました。取り組みを行うにしてもやり方が大切ということですね。

資料 3 について、取り組みの案として調布市を参考に作られていますが、実際にやるのは難しい、できない、あるいは追加で取り組むべきことなどあればご発言頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

### ○佐藤副会長

先ほどお話が出たゴーヤに関する取り組みについてですが、取り組み状況を写真に撮ってもらいコンテストをしています。報告は求めています、代わりに写真を撮ってもらっているような形になっています。最近は写真のレベルも上がり、写真を撮るためにゴーヤを育てているのではないかと思うような高いレベルの写真もあります。先ほど、楽しさということで話をしましたが、写真を撮ることが楽しいのであれば、それでゴーヤに関する取り組みが行われればそれも良いのかなと思っています。

### ○藤原委員

ゴーヤについては、特に子どもさんが育てるとたくさんできることが多いので、子どもさんに配布されると良いかなと思いました。

### ○余村環境エネルギー部次長

まつえ環境市民会議には多くの会員、事業者がおられます。特段、報告などは求めています、ゴーヤに関する取り組みをされた事業者さんからは、空調に関するコストが減って良かったという意見もいただいたりしました。また、ほとんどの公民館でも取り組んで頂いています。

### ○松本委員長

ありがとうございました。それでは次の項目について説明をお願いします。

### ○余村環境エネルギー部次長

<議題 2 について、資料 3 を用いて以下の項目を説明>

- ・再生可能エネルギー等の利用促進

#### ○松本委員長

ありがとうございました。再生可能エネルギーの利用促進については世界でも国でも大きな課題となっています。これを実現していくのが各市町村なのかなと思っています。

この部分に関しまして、ご意見ございませんでしょうか。

#### ○藤原委員

太陽光ですが、10年ほど使用した後の処理についてデメリットがあると思いますが、そういった部分の勉強をされているのかなと思いました。かなりお金がかかることですし、耐久性なども含めて太陽光パネルの設置は簡単ではないのかなと思います。

#### ○松本委員長

ありがとうございました。

他、いかがでしょうか。

#### ○安部委員

私は、町内会自治会連合会から代表して出席しています。私がSDGsや環境について率直に思うところを発言させて頂きます。太陽光パネルを親戚や子どもが設置しており、電気料金のことだとは思いますが良いと言っています。ただ、優良な土地や山に設置することで、景観や自然環境等を阻害しているような気がしています。CO<sub>2</sub>を減らすために再生可能エネルギーで電気をつくることは分かりますが、これで良いのかなとも思います。以前、風力発電の設置が検討された時に反対運動があったとも聞きますし、パネルの処分や老朽化したパネルが放置されることも考える必要があると思います。

また、電気自動車の導入を進めるような取り組みをする場合、ガソリンではなく電気の使用に切り替えるということになると思いますが、電気を作り、貯めることにも多くのエネルギーが必要になります。この電気が火力発電などで作られた電気であれば、本当にそれが環境のためなのかは疑問に思っているところです。

#### ○松本委員長

今、藤原委員と安部委員から太陽光や環境面への影響についてのご意見をいただきました。まずは、事務局からご意見に対して何かございませんでしょうか。

#### ○余村環境エネルギー部次長

お二人からご意見頂きました。まず、松江市が再生可能エネルギーを進める上での方針として、太陽光の導入促進は考えているところです。再生可能エネルギービジョンを作成する際によく伺った意見として、「松江らしさを大切にしよう」というものがありました。太陽光で言うと、どこにでも設置して良いという訳ではなく、自然や景観に配慮しながら場所は考えていく必要があると思ってお

りますし、再生可能エネルギービジョンの中でも同様の記載をしています。

また、太陽光発電設備の機能についてですが、1年使うごとに0.5%ずつ機能が低下していると言われており、10年間使用すると設置時から5%低下するものと考えられます。そこで、松江市として取り組みを考えているのはリユースパネルの有効利用です。例えば、10年経過して機能が低下しパネルを外すことを考える方もいると思います。その際に廃棄されるパネルを市の遊休地に設置し発電することができれば、廃棄されるパネルを減らすことにもなりますし、発電もできるため、このような仕組みが松江市でできないか検討しているところです。

なお、国では太陽光発電設備を設置する際のガイドラインなどが少しずつ作られているところです。その中で、山にパネルが設置されたまま放置されているような状況を踏まえた対策として、今後は設置の際に、リサイクル用などを基金のような形で積み立てておき、設置者がいなくなった場合でも撤去費用が捻出できるような仕組みが出来上がりつつあります。市としてもこのような流れを注視しながらメガソーラー事業者などには情報を提供したりしますし、先ほどお話したリユースの仕組みができれば、廃棄以外の選択肢ができることになり市民の皆さんとの連携もできるのかなと思っています。

#### ○松本委員長

ありがとうございました。丁寧にご説明いただきました。一昔前の太陽光パネルは、あまり性能が高くなかったように思えます。産業と技術開発が進む中で、リユースやリサイクルが進んできましたね。

松江市は土地が多く、設置が考えられる場所が多いので景観や環境に配慮した設置が必要になると思います。また、資料3で参考になっている調布市さんは補助金といった面での施策を中心としているのかなと思います。調布市は住宅が多く、多くの人が住んでいることや鉄道が発達しており、多くの人を通るまちになっており、一つ一つの住宅に設置されたパネルを更新する費用を補助する制度があると聞いていますし、SDGsで言うところの、持続可能な太陽光発電設備の設置ということになると思います。国の施策として、環境配慮の考え方が進み、予算も確保されてきているようで、一つの方向性となっていると思います。松江市でも環境や防災、景観に配慮しながらパネルの設置を進めてもらえればと思っています。

他、いかがでしょうか。

#### ○松浦委員

事業者の立場からすると、事業者からのゴミの減量化をどのように進めるのかということについては、大きな課題なのかなと思っています。市民あるいは事業者の取り組みの方向性はほとんど同じになるのかなと思いますが、事業者ならではのプラスαの取り組みとして、具体的なものがあっても良いと思います。一つは、通勤についてです。通勤に自動車を使っている人が多いですが、公共交通機関を利用しようと言っても、日常的には進んでいない状況だと思いますので、さらに重点的に進めていく必要があるのかなと思います。また、カーボンオフセットについては、山

陽側の地域に比べて、まだこちらの地域では進んでいないように思いますので、取り組みが必要かなと思っています。

#### ○松本委員長

ありがとうございました。

他、ご意見無いようでしたら次の項目について説明をお願いします。

#### ○余村環境エネルギー部次長

<議題2について、資料3を用いて以下の項目を説明>

- ・環境にやさしいまちづくりの実現

#### ○松本委員長

ありがとうございました。環境にやさしいまちづくりということでしたが、私たち委員が議論しやすい視点の話かなと思います。調布市の事例を元に、今回の資料を作成いただいておりますが、この部分については、調布市よりも松江市の方が、アドバンテージがあるように思います。先日、私は調布市内に宿泊しましたが、満員電車で揺られながら街並みを見ると、松江市との違いとして、緑の少なさについて感じました。松江市の方が、緑が多いですし、緑だけで無く水辺の青色もあるかなと思います。資料内に書かれている取り組みについては、質、量ともに松江市の方が、アドバンテージがあるように思いますのでこの部分について手厚くアピールできると良いかなと思います。自然との共生をしながら、環境主都の実現に向けて、この部分は調布市さんを越えたものを出していく必要があるのかなと思います。

前置きが長くなりましたが、委員の皆さまからご意見等いただけないでしょうか。

#### ○桑原委員

会長がお話しされた木などを指す「緑」や水辺を指す「青」についてですが、この資料を拝見した時に確かに「青」に関する部分の記載は調布市さんには無いなと思いました。調布市さんは水辺空間が少ないので当然だと思いますが、松江市には宍道湖や川も含め水辺の環境がありますので、多自然川づくりや護岸の環境配慮などについても松江市の取り組みとして入れてあった方が良いのかなと感じました。

あわせて、地球温暖化対策ということで広く言えば、宍道湖の資源、天神川や堀川なら水草といったものを使って大気中に二酸化炭素を出さないようにすることができれば、温暖化対策になるだろうと思います。また、しじみの殻を上手く使えば炭酸カルシウムが温暖化対策に使えるだろうと思います。

一つ、質問なのですが、今回の区域施策編では、市民や会社がいかに二酸化炭素を出さないかということがポイントになってくるのでしょうか。二酸化炭素を吸収するような取り組みはあまり関係ないのでしょうか。

### ○松本委員長

ありがとうございました。このあたり、策定のポイントになると思いますが、事務局はいかがお考えでしょうか。

### ○余村環境エネルギー部次長

排出量を減らすだけでなく、炭素を固定あるいは吸収するようなことも含めてご議論いただければと思います。2050年には温室効果ガス排出量を実質ゼロにするとしていますが、これは排出量を減らすことと吸収などによって、ゼロにもっていくという意味です。排出量をどう頑張って減らしても、ゼロにはならないので、今お話いただいた考え方が非常に大切になってくると思っています。ブルーカーボンや森林などのことも、計画の対象としてご議論頂ければと思います。

### ○桑原委員

つまり、計画の中に炭素の固定や吸収などの取り組みを含めることもできるということでしょうか。

### ○余村環境エネルギー部次長

そのとおりです。

### ○松本委員長

ありがとうございました。グリーンカーボンは森林資源が炭素を吸収することを指し、ブルーカーボンは海の資源である水草やオゴノリが炭素を吸収することを指します。これらを使用したカーボンオフセットの仕組み構築も一つの方法ですね。例えば、市役所の方の名刺はヨシ紙を使用されていますね。宍道湖の中でヨシが二酸化炭素を吸収してもそこで朽ち果ててしまうと、あまり意味が無いように感じます。ただ、二酸化炭素を吸収した状態で刈り取って湖外に持ち出して紙に再生することは、二酸化炭素だけでなく窒素やリンなど水質にも関わってきます。このように上手く強みを使うことができれば、良いと思います。研究や開発も各事業者さんで進められていると思いますし、色々な視点の内容を計画の中にも盛り込んでいければなと思っています。どう盛り込むかは少しテクニックが必要ですが、水の都ということは強みとして出していきたいなと思います。

### ○佐藤副会長

宍道湖の水資源などについて桑原委員よりお話を頂きました。私は農業との関わりも大切なのかなと思っています。昔は二期作や二毛作などと言われていましたが、今の農業は食料の増産のこともあるので、環境配慮型でドローンを使った大規模農業などが効率的に行われようとしています。そのような中で、ウクライナ情勢などもあり、農業で使われている窒素の輸入が減っています。農業の肥料には様々なものが使われると言われていきますので、植物や水産資源を使えないのかなと思っています。植物や水産資源を使いながら、二酸化炭素の吸収と農業を組み合わせれば面白いかと思います。

### ○松本委員長

ありがとうございました。私からも少し付け加えさせていただきます。今回の計画にあわせて言うと、食品ロスに関連して、堆肥化させるような取り組みは松江市でも取り組んでおられるようですのでこの計画に含めても良いかなと思います。取り組みを上手くすることで、二酸化炭素の吸収や堆肥化、食品ロスなど色々な課題の解決策になれば良いかなと思います。食品ロスについては、大人1人がおにぎり1個分を毎日捨てていると言われていています。このあたりは教育的な啓発も含めて行くと温室効果ガスの排出削減につながりますし、そのあたりはこれまで市でやってきたことを上手く宣伝したいかなと思っています。

また、自転車・徒歩利用などについても記載がありますがいかがでしょうか。

### ○赤川委員

私は自動車を利用しないので、自転車とバスを利用して移動しています。自転車に乗る側としては、安心して走ることができる場所が少ないかなと思っています。今の話から少しそれるかもしれませんが、道の整備が進んでいるのかなと疑問に思います。自転車で車道を走っていると車の邪魔になっているように感じたりもしますし、道もデコボコしているので慎重に走らないと怖いかなと感じます。また、学生さんが逆走されることが多く危ないかなと感じることも多く、自転車で走りにくいことがあります。

また、農業についての話が出ましたが、私も小さい畑を借りて何年か前から肥料や農薬を使わずに実験的に農作物を育てています。動物の肥料などを使うと匂いがして、洗濯物が干せないといったことを聞いたことがあります。事業として利益を得るためにやっていくには、色々なものを肥料として使うのも必要なのかも知れないと思いますが、地球全体のことを考えて安全・安心を考えてやる方法もできれば良いのかなと思います。

### ○松本委員長

ありがとうございました。城山西通りや学園通りには、自転車が通行しやすいように道路に青い線が引いてありますが、自動車によってはその青いラインを踏んで走っている人も目にします。自転車利用の促進やウォークアブルなまちづくりとありますので行政としても整備が必要なのところもあると思います。調布市よりは松江市の方が走りやすいとは思いますがより安全安心かつ快適に走ることができるようなになればと思います。また、学生が団体で走っているところをよく目にしますが、河原委員はどう思われますか。

### ○河原委員

私は自転車には乗らず、徒歩で移動しますが、県外出身の学生から話を聞くと松江市は平らな道が多く自転車で走りやすいと言っていました。資料の中にある自転車走行空間の計画・整備は、どのようなことを指しているのかなと思いました。道を広げるということでしょうか。少なくとも、周りの学生の話からすると今のままでも良いのかなと思います。

また、歩行者の立場からすると、今の道だと自転車と歩行者と一緒に移動すると危ないと思うことがあるので、綺麗で広く整備してもらえると良いなと思います。

また、ノーマイカーデーというものがあるということを今回始めて知ったのですが、どのくらいの頻度でされていますか。

#### ○余村環境エネルギー部次長

毎月、1日と20日はノーマイカーデーということで、市の職員と企業と共同で取り組んでいます。

#### ○佐藤副会長

以前は電動自転車を貸し出したり、活発に取り組みがされていましたが、今はされていないような気がします。そういったことを復活しても良いのかなと思います。

#### ○松浦委員

渋滞緩和の視点でのみやっていたと思うので、今回のように脱炭素の意味合いも含めて行うことができれば活発な活動になるのかなと思います。

#### ○松本委員長

世界的にも、同様のことが唱われており、国連の広報センターが「ACT NOW」といって、気候変動に立ち向かうために取り組むべき10個の項目を示しています。この中に徒歩や自転車での移動について書かれています。気候変動や温暖化の進行についての危機感を市民に伝えていく必要があると思っています。これ以上気温が上昇すると、私たちの生活に大きな影響があり、農業関係者、漁業関係者も望んだことではありませんので、そのためのノーマイカーデーなんだということを伝えてほしいなと思います。

それと、自転車の整備についてもご意見がありました事務局からお答えいただけますか。

#### ○余村環境エネルギー部次長

会長のご発言のとおり、すでに青色のラインを引いている区間も一部ありますが、松江市としてどう取り組んでいくかといくことについては検討させていただければと思います。

#### ○松本委員長

道幅の問題があるので難しいですが、サンフランシスコなどのような大きな都市では車線が多いからできることですが、通勤時間帯は自転車のみが走行できるレーンにしています。このような大胆な発想がないといけないのかなと思っています。最初は無理な提案ばかりになるかもしれませんが、色々と意見を出してできることから始めていければなと思いますし、まずはそのような意見を出す場が必要になってくるのかなと思っていますのでご検討頂ければと思います。

### ○安部委員

私の同級生で、流山市で教師として働いていた人がいまして、定年で松江に帰ってきて、市内の中学校で働いています。登下校の際に歩道を自転車で通っている生徒を注意したら、逆に生徒から注意されたそうですがこういったことは良いのでしょうか。

### ○余村環境エネルギー部次長

歩道の広いところには標識があると思います。歩いている人と自転車の人が描かれた人の2つのマークのものについては、通行しても良いと思います。今お話の場所がどうなっているかは分かりませんが。

### ○松本委員長

まちや道のつくりによると思います。松江市全体として精査してエリアごとの案がでると良いですね。それでは、次の項目について説明をお願いします。

### ○余村環境エネルギー部次長

<議題2について、資料3を用いて以下の項目を説明>

- ・循環型社会の形成

### ○松本委員長

この項目については、先に説明頂いた3つの項目と重複する部分も多くあるとあります。循環型社会の形成が松江市によっては重要になっていると思います。

食品ロスは学校現場でも大きな課題になっていまして、昨年度は私と島根大学の学生、松江市で食品ロスに関するDVDを作成し、松江市のすべての小学校に配布しました。大人が見ても良いようにYouTubeでも発信しています。これを活用して欲しいなと思います。また、国を超えての取り組みとして、学校用のDVDに中国語のテロップをつけることで、多くの人に見てもらえるように取り組んでいるところです。こういったこと一つ一つを取り上げて発信してほしいなと思います。

こも重要なところなので、是非皆さまからご発言頂ければと思っています。

### ○佐藤副会長

先般、新聞にも載っていたかと思いますが、買い物袋に代わってゴミ袋を使おうという話がありました。ただ、市民の皆さんからの反応は様々なようです。ゴミ袋に食品を入れることに抵抗を感じる方もいるようです。まつえ環境市民会議のアドバイザーに湘南乃風の新羅慎二さんをお迎えし、お話いただきました。お話を伺って、ゴミ袋の色に抵抗感がある方もいるかもしれませんが、色の変更はできないかもしれません。ただ、別のロゴを入れたりするなど少し工夫できないかなとも話がありました。

古浦の方に行くと、すごい量のゴミの山があり、プラスチックがほとんどとなっています。ゴミは

日本のもので無いものも多くあるようです。

また、会長からもありましたが食品残渣の二次利用についても大規模にやっついていかないとけないと思っています。

#### ○安部委員

私は、八束に住んでおり、合併前の八束町の時には生ゴミを肥料に処理する機器の購入補助がありました、今はないですね。

#### ○余村環境エネルギー一部次長

今は助成する制度はございません。

#### ○安部委員

分かりました。ありがとうございます。

#### ○松本委員長

松江市としての強みになる部分ですので強く打ち出していきたいですね。補助金など予算のこともあるので難しいですが、やはり教育による意識啓発をしながら、自分ごととして取り組んでいけるかということになるかと思います。市長も思いが強いと思いますので、私たちがここで審議した内容で行動に移しやすいものにする必要があります。この資料の 10 ページに書いてある 5 つの SDGs の目標は非常に大切で私たちが推進していかないとけないものだと思います。

#### ○藤原委員

生ゴミの減量についてですが、昔も生ゴミはあったと思いますが、ゴミとして出していなかったですね。要は畑に埋めたりしていたと言うことです。こういった事例を学ぶような場を設けられれば、ゴミの減量になると思います。特に郊外部の方で畑がある方は、畑に埋めることもできるのにゴミで出していることが問題だと思います。今の方は衛生面など気にされる方が多いと思いますが、先人から学んでできることもあると思いました。

#### ○松本委員長

近隣の自治体でも、家庭から出た残渣を農業と酪農などに活用したりする事例もあると思いますのでそういったことを参考にできると良いですね。

#### ○安部委員

もしできたら、生ゴミを肥料に処理する機器の購入補助をお願いします。

**○余村環境エネルギー一部次長**

検討させていただきます。

**○松本会長**

河原委員に伺いますが、大学生の目線から、ごみの分別や食品ロスといったことで、取り組んでいることや解決に向けたヒントがあればお願いします。

**○河原委員**

皆さん、生ゴミは可燃ゴミで出されていると思います。また、ごみの分別については、分かりやすい冊子をいただいているので、分別はしやすいです。ただ、他の人も同じ冊子をもっているかはわからないので、分別が適当になっている人もいます。確実に全員の手元に冊子が届くと良いなと思います。

**○松本会長**

我々も昔から学生にヒアリング調査などしていますが、どうしても可燃ゴミに全て入れて出されがちです。食品ロスを減らすことが可燃ゴミの減量にもつながるので、食べる分だけ購入することなどの情報発信が大学としても必要かなと思っています。中学・高校の間は親御さんと暮らすケースが多いですが、大学生になって一人暮らしになるとこのような問題が起きるのかなと思っています。島根大学だけでなく、県立大学にも働きかけが必要なのかなと思っています。

**○藤原委員**

質問ですが、個人向けのゴミの分別冊子については非常に良くまとまっており、分かりやすいのですが、事業者向けの分別冊子がありますか。

**○佐藤副会長**

我々、事業者は産廃業者に出すしかないのですが、産廃業者さんによって分別をどの程度するのかはあると思います。

**○松浦委員**

家ではきちんと分別して出しているのに、事業所ではきちんと分別せずに出すことが多いように感じています。家でやれるのであれば、事業所でもやるべきですし、産廃業者さんともお話する必要があると思います。

**○松本会長**

大学でも、教育上はきちんと分別するように言っていますが、形骸化していますので、事業者ごみをどうするのかは考えていけないですね。

次の項目に移りたいと思います。

#### ○余村環境エネルギー部次長

＜議題 2 について、資料 3 を用いて以下の項目を説明＞

・気候変動への適応

#### ○松本会長

ありがとうございました。先ほど、私も「ACT NOW」といって、国際的な取り組みを紹介しましたが、同様にとても大事なことになってくると思います。

委員の皆さまからご意見ございませんでしょうか。

#### ○佐藤副会長

松江市の場合は、水に弱いところがあります。私は建設業協会で会長をしていますが、建設業協会は水防協定を結び訓練もしていますが、それほど水に弱い土地ということです。近年、極端に降雨量が増えており、市民の皆さんにも意識を持ってもらいたいなと思っています。

#### ○松本会長

気候変動のところでは、自然災害の対策が一つの柱になっています。斐伊川放水路ができて本当に良かったなと思います。できる 1、2 年前には決壊して大変な状況になり、その結果、宍道湖や中海の水質や漁獲高に影響が出ていました。この計画を実現するためにといった広い部分で書かれている部分だと思います。

他、いかがでしょうか。

#### ○佐藤副会長

前回、桑原さんからアマサギの死滅の話があったと思います。別でキャラクターの話も出しましたが、楽しいキャラクターだけでなく、気候変動で苦しむアマサギの様子をキャラクターにしても良いのかなと思いました。

#### ○松本会長

ゆるキャラグランプリなどを見ると、そういったものもありますよね。すごく顔色が悪いようなものもありますね。そういった啓発方法もありますね。

#### ○藤原委員

お尋ねしますが、松江市に訪れる観光客が最も多いのは何月ですか。

**○余村環境エネルギー部次長**

だいたい11月頃です。

**○藤原委員**

そうなんですね。環境の関係で、お堀の周りで外来生物を捕獲するイベントを見たことがあるんですが、観光客の方に見て頂くと、松江市は環境に配慮した場所であるとアピールできると思っています。松江市に観光客が多く訪れるときにそういったイベントのようなものができるといいんじゃないかと思います。県外の方へのアピールも必要かなと思います。

**○松本会長**

市民向けでは、松江城で、親子で学ぶウォークラリーというものをまつえ環境市民会議でやってもらって、一緒に行っています。先ほどの外来種も学生がテーマにあげてやっています。数年前に比べるとミドリガメの数が減っているようで、恐らく取ってくれているんですね。良いことなのかなと思っています。水質についても、私が島大の学生だった頃には、色々なものが浮いていましたが、今は綺麗ですね。見た時は汚いかなと思っても、いざ計ってみると綺麗なことが分かります。それが学びになります。去年は80名の親子が参加してくれました。「住んで良い、訪れて良い松江」として、外の方に見せるような視点があっても良いかなと思います。

時間が少なくなってきましたので少し整理します。事務事業編については、次回までに具体的な数字などが入り策定になると思います。区域施策編については、後ほど良い取り組みなどのアイデアが浮かんだら、後日事務局までご連絡いただければと思います。

最後に、本日発言しておきたいことがある方がいらっしゃればご発言ください。

**○安部委員**

松江市にはSDGs推進課がありますが、そちらとは連動していないですか。

**○余村環境エネルギー部次長**

情報提供しながらやっています。

**○安部委員**

大根島も斐伊川水系ですが、放水路は稼働していますか。

**○松本会長**

稼働していると思います。

**○安部委員**

この前、通った時には底のセメントが完全に出ていました。

**○余村環境エネルギー部次長**

雨が降った後で無ければその状態になっていると思います。

**○安部委員**

そうですね。それと、私個人として、温暖化対策は必要だと思っておりますが、テレビを見るとアメリカのトランプさんなどは、温暖化対策は必要ないと言っていますがどうなんですか。

**○松本会長**

アメリカのトランプさんの理論は、地球は46億年の歴史の中で様々な変動が起きる中の一つとしているので、産業革命以降の一部の年代を見ただけで、「人類がでっぴあげたものだ」と言っていますが極論だと思います。人類が生まれた200万年の間、特に産業革命以降を見たときに多くの研究者が気候変動の状況を危惧しています。

**○桑原委員**

先ほど、副会長から農業の話がありました。今回説明いただいた内容は排出量を減らす内容がメインだったかと思いますが、全体を通した時に半分あるいはゼロにする際の吸収する取り組みなどについての説明はまた後日ありますでしょうか。

**○余村環境エネルギー部次長**

今回のところでそういった内容も含めた資料を提示したいと思います。案として提示させていただき、追加するもの削除するものをご議論頂きながら整理していきたいと思っております。

松江市としては、国の削減目標についても踏まえつつ、取り組み内容を整理していきます。

**○松本会長**

ブルーカーボンなどについてもどこまで記載するかはありますが、水の都として盛り込んでいくべきかと思っています。

今日は市民がやること、事業者がやること、まつえ環境市民会議が担うこととして皆さんにもお話し頂きました。事業者といった視点から松浦委員、ご意見いかがでしょうか。

**○松浦委員**

今、私たちも水辺空間の利活用についても取り組んでいるところで、今年の水郷祭もその一環としてやっています。このような利活用を通じて、脱炭素やカーボンニュートラルの啓発の場になればと思っていますので、私たちもしっかりと努めていきたいなと思っています。

**○松本会長**

ありがとうございました。最後に、副会長よりご発言いただけますでしょうか。

**○佐藤副会長**

水辺の空間の話が出ましたので関連することで、昨年9月に、松江ロータリークラブで藻刈りを行いました。大手前の駐車場の突き当たりの所から水辺に入って行ったのですが、普段見ない場所から松江城を見ると良い景色だなという意見が出ました。こういったことも組み合わせてやっていると面白いかなとも思いました。

**○松本会長**

ありがとうございました。次回の審議会では計画(素案)が提示される予定です。さらに、議論を深めていって市民、事業者、行政が一体となった取り組みを検討することになると思いますがよろしいでしょうか。

<一同、異議無し>

ありがとうございます。それでは、本日の議題は以上になりますので進行を事務局にお返しします。

**○石倉環境政策係長**

委員の皆さま、ありがとうございました。次回審議会の開催につきましては、6月を予定しております。後日改めて、ご都合をお伺いしますので、スケジュール調整をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和5年度第2回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。本日はご出席いただきありがとうございました。